

バスストラffic報

No 8 登録名義人

森幸一

講読料

年六十銘也

バスマ自治会

四木六十六九五

日本柔道大使節
木村七段 山口六段 加藤五段を迎
伯國ルツタリーフレの一流強豪と開戦

血湧き肉躍る

期日 九月十三日 午后二時開始

場所 バスストラffic場

前号所載の通りバスストラffic人に納ほした
谷口章氏に敬意を表すべく製糸会社に同氏と
訪問して祝辞を述べると、ハヤト僕は何にも知りえで
すよ。名義だけのものでせう」と謙遜された。

招撃部のことは知らぬが製糸のことより何なりと申
答へしす。次の如く最近の製糸工場を紹介した。

凍結解除に至ったのは招撃部
だけで製糸会社はまだモタラン
にかつて、ジョンアス氏が頑
張つてゐる。法律的には凍結
令は撤廃されてゐるのに、いか
にしな事には運動の熟度如何
にちて先に来たたり、おとす少し
にされるものらしい。

何分り未だこの月給が十分
ですからな、谷口氏は苦
笑した。一年百二十コント既に十
年超過してたるがり千五百コ
ント以上吸はれてしまつてゐる、
一すした工場が建つのにどう
にもならぬものかと考へさせられ

外に直営原糸工五家族 勤
勤する外、パン合十全一ラン
アリアヘ三十金に支店を有し堂
クたる経営振りであつて、リキダシ
テ氏が重慶港へ能はぬ所以
である。

養糸家に昔かりの剥削が多

待望の際大試合

ハサウエー開催、此の機を逸する勿れ
二度と見られぬ名試合、大試合

主催 サンパウロ新聞

後援 バスストラffic自治會

バスストラffic聯合青年

バスストラffic柔道聯盟

全全 熊本縣人
千葉縣人
会会会社

く昨今にわがに用ひ者十人未少、

が蒲西三均三十五金より本ほ可

なり。此にたる外で製糸にて養

蚕、ハ經年を希望してゐる。

勿論、之の荒じた桑園は桑葉

はうん、施肥をして手入れしな

ければならず、新に桑園を作る

者て、一まとした資本がかるが

真面目な養蚕家には融資

をして居るといふことであつ

思へば製糸はバスト六の興

隆

に六の運営をして居りバスト六の

大機を幾度かも放つて居る

バスト六の産業を説くとき、此

の製糸の力強さ存在は真先
にこれねはならないであらう。

往年前、棉作が恩にしてなくな

つた時、時代の浪にのつて植民

地きあひて桑園と化し見事な

轟向振りを見せたものである、

終戦後大いに狼狽したが蚕

盤が役に立て、此の時も見事

に鮮かに養鶴に代つてしまひ

せは、また大きく勤めて大農機

廣告印申込は 蓬臺へ

械の時代となつたが、養蚕も頗

に活氣を帯び来たり、バストス

はまた、昔のバストスにかへ

りつ、ある

十年一日り如く改々として農家

の味方となり、バストス發展に陰

に今り日向と存つてお尋ねするわ

が谷口章長の健在をたぶ

るものである。(一) 東音記

一 家長名、家族員數、一 職業、一 渡伯年月

一 出身郡市町村、一 確実二年紙ノ届、宛名(空)

尚聖上陸下縣内御幸録(便大。クルセロ也)取次致シコス

当地縣人会組織ニツキ御意見オキカヒ下さい

元セナリヤ敷地

帰屬決定す

かれてバスト六自治会に於て
アマリヤ跡ヲフラ拓ニリ譲リ

受キ、興童三庭園地、興華舍

ビニト等を建設予定で五

月が愈々該敷地は正式に自

治会に接する所れることになつた

但し款地ヲ約三分の一は佐原

福太郎氏、年々の新アマリヤ敷

地として三ヶ年復奉下ろること

ナリ兩者間に和解成立した。

福島縣山東省二告外

今回縣海外協會伯國支部ヨリ同協會本部トノ連絡
ノ必要上、聖市ニ伯國支部再建致シマシタソ

查ニ依頼シテ參りマシタ。各項明記、小王宛差シ
玉シ下サル様不願ニ致シマス。

一 家長名、家族員數、一 職業、一 渡伯年月

一 出身郡市町村、一 確実二年紙ノ届、宛名(空)

尚聖上陸下縣内御幸録(便大。クルセロ也)取次致シコス

当地縣人会組織ニツキ御意見オキカヒ下さい

元セナリヤ敷地

帰屬決定す

かれてバスト六自治会に於て
アマリヤ跡ヲフラ拓ニリ譲リ

受キ、興童三庭園地、興華舍

ビニト等を建設予定で五

月が愈々該敷地は正式に自

治会に接する所れることになつた

但し款地ヲ約三分の一は佐原

福太郎氏、年々の新アマリヤ敷

地として三ヶ年復奉下ろること

ナリ兩者間に和解成立した。

感 フ ノ 稲 制 糸 會 社

初心者 大々に結構

眞面目に働く方、大々に優遇す

る

サシタ セシリヤ校 ハケニツク

卷之九

去る九月二日（トミシゴ）落葉村

卷一百一十一

数量の多少に拘はず、
いつも最高の枚だんで
アガシーブイン 買入

アガ・ソ・ム・イン

買入れます

稭子(ノホ)

大量到着しました

清酒を試み、用意の辨當に
捕獲のペイント、速席料理に
古鼓を打ち退かず、多き一日を
過し、記念撮影の後、歌小唄
七朗に愛國行進曲、軍中行進
曲、螢の光、秋浦の歌、夕笛

迎る頃帰校、魚幸解散した
因みにオ一回の卒業式には左
よりである

遠き憶りあれ
近き憂ひ在し

今農年は是非其優良種をアランタして大に増産を計りませう

飼料の大宗ニリヨホルト
養 鶴に憂ふ

ハローティラント組合

バストス出張所

原稿〆切毎火曜日
高田時計店 気附 ノ少
移住地立入、報告、告知等が
しりせ下さい

FASENDAS

ASAS PERNAMBUCANAS

ENTRADAS EN TORO DE BRASIL

Pastor

七

赤志水原く

春娘たち

卷之三

國本商店